

# Stay hungry, stay foolish

河合 由起子

KAWAI Yukiko

京都産業大学 コンピュータ理工学部 准教授  
データ工学

## 略歴

- 2001年 奈良先端科学技術大学院大学  
情報科学研究科博士課程  
情報システム学専攻修了
- 2001年 独立行政法人通信総合研究所  
(現独立行政法人情報通信研究機構)  
入所
- 2006年 京都産業大学理学部コンピュータ科学科  
講師
- 2008年 京都産業大学コンピュータ理工学部  
講師
- 2011年 京都産業大学コンピュータ理工学部  
准教授

## 研究テーマ

本研究室では、世の中に溢れている大量のデータ(Web、SNS、医療、地理、交通等)の中から、いかにして個人にとって必要な情報を見つけ出し、発見した情報をどのように理解させ知識として提供できるかといった観点から、情報検索、推薦、可視化技術に関する研究を行っています。

## 研究の道へ進んだきっかけ

大学院時代の初めての国際会議発表がきっかけです。それまでは学生にとっての研究は、ワクワクというより、正直どちらかと言うと辛いもの(!)でした。しかし、その辛かった分だけ、Acceptance(採択)を頂いた時の嬉しさ、達成感、何とも言えない「快感」でした。そして、同じ分野の研究者のディスカッションはとても刺激的でした。会場がギリシャのクレタ島だったのも印象深かったです(笑)。「快感」と「刺激」を得られる研究、そして挑戦し続けることができる研究の道に進みたい!と、バルテノン神殿で決意しました。

## 研究者になってよかったと思うこと

好きな研究を続けられることです。不規則な生活にはなりますが、論文を投稿した時の達成感、採択されるかどうかは気にせずに!。また、若い研究者や学生とのディス



カッションは色々な意味でワクワクします。そして、研究指導した若者達が自信をつけて、飛び立ってくれることが、一番の喜びです。

## 座右の銘

Stay hungry, stay foolish

## 研究とプライベートの両立で工夫していること

実践的な工夫としては、ルーティン化することです。といっても必切等に追われて不規則になりがちですので、きっちり守る時間は、平日の起床時間と各曜日の帰宅時間ぐらいです。これで各曜日の研究時間がルーティン化できますので、計画性をもって研究を進められ、そのおかげでプライベートも満喫できます。メンタル的な工夫としては、どんなに遅くなくても夕食時は子供達と一緒に食べて、今日の出来事を共有しています。子供達の話は癒されるだけでなく、孤独感から抜け出せて、世の中(所謂世間)とつながっている実感が得られます。

## 人生の転機になった一冊/学生に薦めたい一冊

「What I Wish I Knew When I Was 20」(邦題「20歳のときに知っておきたかったこと」)Tina Seelin著は、スタンフォードのフィールドワーク的な講義内容で、「自分ならどうするか?」とか「さすが学生!」と、楽しんで読めます。例えば、「手元に5ドルありますが、これを2時間でできるだけ増やすには、みなさんはどうしますか?」といった課題に実際に取組んでもらいます。物事には多面的な捉え方があるということ、そして多様な捉え方をどのように活用するのが合理的かということ学べる一冊だと思います。

## 未来の研究者へ一言

Stay hungry, stay foolish!

## 研究紹介

google やyahoo! などの検索エンジンを使っていて、思うような結果がなかなか出てこなかったりと、不便を感じたことはありませんか?

また、WebやSNSの内容がわからないことを、その場で誰かに気軽に聞けたらよいのと思ったこともあるかもしれません。こうしたいまの検索エンジンにはない、情報(WebやSNS)とユーザを同時に検索し、さらにユーザ同士で気軽にコミュニケーションできる(図中右のチャットボックス)新しい機能を持った次世代検索エンジン「つながる検索」を開発しました。



## BEST SHOT

スこれまでの学生からのプレゼントで最も多いカップシリーズです。

## My Hobby

子供との読書と映画鑑賞です。本は基本的に事実に基づいているものが好きなので、国内外を問わず、歴史物を比較的良く読みます。切迫流産になって寝たきりの時に、身内が「織田信長」全5巻を買ってきてくれたときは笑ってしまいました。特に、司馬遼太郎さんや山崎豊子さん、吉村昭さんの著書が好きです。